

3号様式の1

排出量削減計画書

		☐ 新規 ☒ 変更	
(宛先) 京都府知事		令和8年7月21日	
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府宮津市宇吉原2605番地		氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社大谷建創 代表取締役 大谷武志 電話 0772-22-5360	

主たる業種	塗装工事業	細分類番号	0	7	7	1
事業者の区分	☒ 産業部門 主たる業種を元に右記部門から該当するものを選択 ☐ 業務部門 ☐ 運輸部門					
計画期間	令和5年4月 ～ 令和8年3月					
基本方針	社内全体で省エネ活動を実践し、環境負荷の低減に取り組む。					
計画を推進するための体制	代表取締役が中心となり、社内全体で温室効果ガス削減目標の達成に取り組む。					
削減率						
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (2～4) 年度	第1年度 (5) 年度	第2年度 (6) 年度	第3年度 (7) 年度	3年平均増減率 (基準年度比)
	事業活動に伴う排出の量	7.4 トン	11.2 トン	8.5 トン	8.4 トン	26.6 パーセント
	グリーン電力証書や非化石証書等の購入によるもの削減量	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン	
	評価の対象となる排出の量	8.9 トン	11.2 トン	8.5 トン	8.4 トン	5.3 パーセント
	年度ごとの増減率 (基準年度比)		25.8 %	-4.5 %	-5.6 %	
	目標の根拠	省エネ活動の実践により、目標削減率である4%以上の達成を目指す。				
具体的な取組及び措置の内容	1年目	社内全体へ計画を周知し、省エネ活動を浸透させる。				
	2年目	LED照明、省エネ効率の高い空調設備への切り替えなどを検討するほか、空調の温度設定や切り忘れなどを徹底する。				
	3年目	LED照明、省エネ効率の高い空調設備への切り替えなどを検討するほか、空調の温度設定や切り忘れなどを徹底する。				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	在庫となった塗料を地域住民の希望者へ無料配布することで、資源の有効活用及び廃棄物抑制につなげている。					
特記事項	会社名の変更：大谷塗装工業株式会社→株式会社大谷建創					

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
2 「細分類番号」とは、統計法（平成19年法律第53号）第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量の平均をいいます。